

## 普及活動情勢報告（令和2年4月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

### 地区に応じた根こぶ病対策の検討に向けて ～ナバナの根こぶ病発病程度の調査～



根こぶ病発病程度の調査

3月から、JA高知県幡多地区十和支所と普及所では、ナバナ生産者を対象に、根こぶ病対策を検討するため、根こぶ病発病程度の調査を行っており、現在2地区で調査中です。

地区によって発病程度の違いが大きくあり、抵抗性品種を栽培しているほ場でも発病がみられました。

今後は菌のグループ分類やアンケート調査を行い、地区ごとの根こぶ病対策案を作成していく予定です。

普及所は、関係機関と連携して、ナバナの根こぶ病対策に向けた技術の検討を行っていきます。

### 台切り更新で手摘み茶産地の維持に向けて ～茶の台切り更新後の調査～



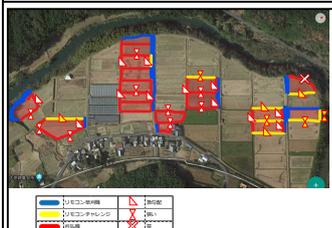
茶の台切り後の生育調査

4月15日、JA高知県幡多地区十和支所と茶業試験場・普及所では、河内地区のモデル園で台切り更新後の年度別生育状況調査を行いました。

今年の一歩茶の受入開始日は4月16日となっています。4月上旬の低温の影響で生育はやや遅れが見られます。生産者の声として、「台切りにより茶葉の品質が向上し、単価に反映されているモデル園」として部会の活性化につなげたい。

普及所は、関係機関と連携して、茶産地の維持に向けた取り組みを続けていきます。

### ラジコン草刈機による畦畔除草の省力化に向けて～草刈りマップの作成～



作成した草刈りマップ

4月上旬、スマート農業実証圃場の現地調査を行い、草刈りマップを作成しました。

現地調査は、実証経営体である営農支援センター四万十(株)の職員とともに行い、畦畔の勾配や幅等を計測しました。急勾配や排水路周辺など機械の転落等のリスクが高い場所を避け、ラジコン草刈機での作業が可能な場所を選定し、刈払機との併用で除草を行うようにします。思った以上に利用できる場所が少ないことや危険な箇所が分かりました。

普及所は、実証経営体と協力して草刈りマップを活用した畦畔除草の省力効果を実証していきます。